

若く日に  
汝の思想を培え

若く日に  
汝の体躯を養え

若く日に  
汝の智慧と磨け

若く日に  
汝の希望を重んじ

松岡 幸次郎

## 第8号

(発行)  
平成25年12月17日(火)  
東海大学付属翔洋高等学校同窓会

### 同窓会活動の活発化を目指す

東海大学付属翔洋高等学校 同窓会会長

林 芳久仁



本校は、東海大  
学発祥の地、旧清  
水市に誕生し、幼  
稚園から大学まで  
の一貫教育を、県  
内また全国に於い

てもいち早く確立し、今日に至るまで、建  
学の精神を学び育ち、歴史ある静岡地区学  
園として、多くの卒業生を送り出し、全国  
各地で、それぞれの分野で活躍されており  
ます。

社会に貢献し、定年後も現役で、また各  
地域社会のリーダーとして活躍されている  
諸先輩も多く、楽しく充実した人生を送っ  
ておられます。

我が母校も、生徒・学校長をはじめとし  
教職員の皆さんが、「文・武・芸」の両立  
を目指して日々頑張っております。

同窓会活動も、一高・工業・翔洋の卒業  
生が一丸となつて、日々活動を続けており  
ます。

卒業生の数や歴史的に見ても、県内私立  
高校の中でトップクラスです。

しかし、残念ながら、同窓会活動に参加  
して下さる卒業生が少なく、十分な活動が  
出来ていないのが現状です。会長として、  
責任を痛感しております。

現在は、何としても活性化すべく、20代  
〜30代の若い同窓生の皆さんに参加してい  
ただけるよう、呼び掛けPRに力を入れる  
と共に、活動の魅力づくりの心がけ、学校  
側と協力して進めています。まだ成果を  
出すまでには至っていません。

私は、同窓会を活性化することは、学校を  
育て、ひいては新入生増に結び付く要因に  
なり得ると思っています。

同窓会に関心を持っていただく為にも、  
会運営・活動へのご意見・ご批判等をお聞  
かせいただければ大変有難いです。

二十五年度の活動は、毎年続けて来た、  
学校行事への参加・支援を中心にやって来  
ました。

一方で、地域社会への貢献活動として毎  
年行ってきた、みなと祭りへの「神輿」の参  
加がありました。本年度は「神輿」を担  
ぐ若い同窓生が十分集まらず、地域の皆さ  
んの期待がありました。断念せざるを得  
ず、大変悔しい思いをしました。

二十六年度は、早めに準備に取り組み、  
若い同窓生に喜んで参加してもらえよう、  
呼び掛けPR活動に取り組みで参ります。  
ぜひ、同窓生の皆様にご理解いただけま

すよう、心よりお願い申し上げます。  
活動の活性化は、皆様のご協力にかかっ  
ています。  
重ねて、活動費の一部(維持費)へのご  
協力も、引き続き賜りますようお願い致し  
ます。

### 「学校と関わる四つの手だて」

校長 高橋 信由



同窓会誌「翔」  
第八号の発行につ  
きまして、心より  
お祝いを申し上げ  
ます。全国で、い  
や世界で活躍する

同窓生の皆様方に、在校生と教職員を代表  
して賞賛と賛辞を送ります。また、日頃よ  
り同窓会活動および本校の教育活動につき  
まして、ご支援とご声援をいただきますこ  
と心より御礼を申し上げます。

さて、同窓会(生)が、どのようにすれ  
ば日常の学校の教育活動の中に、参画でき  
るかについてお話ししたいと思います。およ  
そ次のような順序で実施される場合が多い  
と思われま。

1. 部活動における生徒の指導手伝い、  
放課後学習教室などの運営と支援
2. 道徳・特別活動・総合的な学習の時  
間などの協動的運営
3. 学校や学年の体育的・文化的な行事  
の運営支援
4. 教科の授業への参画

この順番は、おおむね外部の方々为学校  
に入りやすい順となります。

1は、部活動指導の支援や放課後、土曜  
日などの学習教室づくりです。これらは学  
校にも生徒たちにも、比較的抵抗感もなく  
受け入れられます。部活動など、教員以上

に専門的な技能があればもちろんのこと、  
放課後の学習や指導の側面から援助するこ  
となどは、同窓生の大学生や地域の同窓生  
にお願いできます。実際に、実施すれば、  
子供たちや保護者、教員からも感謝されま  
すし一定の効力感も得られます。初めは「お  
手伝い」感覚でも、やがてそれによつて学校  
を理解し、運営参画へのきつかけになります。  
もちろん、学校側、特に部活動顧問や担当  
教員との合意形成は当然ながら必要です  
し、危機管理も必要となります。

2は、どの学校でも実施しています。  
その内容は千差万別、まさに学校の特色と  
して機能している場合が多いことから、環  
境教育、キャリア教育、心の教育など、そ  
の学校独自の取り組み状況が反映されます。  
学校では同窓会の紹介や人づての情報を通  
して常に外部講師を探しています。学校の  
教育の方向性と一致すれば、同窓生や保護  
者の方々に専門領域の講師をお願いしてい  
ます。学校によつては、独自の「人材バンク」  
なども同窓会やPTAの支援のもと、設置  
しつつあります。何か得意な分野や専門性  
の高い資格などをお持ちの同窓生の方には、  
学校への登録を積極的にお願いしたいと思います。

今後、これまで以上に、土曜日にごし  
た授業が地域公開型で開催される場合が多  
くなると思われます。そうなれば、平日に  
勤務がある同窓生や保護者にもお願いでき  
ます。ここで発揮される外部の方々専門  
性は、生徒にとつて、教員とは別の指導を  
可能とし、地域の学校力の充実にも寄与す  
ること大です。またこれは、地域の文化拠  
点としての学校のあり方にもつながります。  
ぜひ多くの同窓生に外部講師の登録をして  
いただき、特色ある学校運営や地域に開か  
れた学校づくりとともに、学校拠点型の新  
たな社会教育につながる学校づくりにご協  
力をお願い申し上げます。

部活動報告

陸上競技部

静岡県高校総合体育大会

5月24日～26日  
エコパスタジアム  
男子4×100mR 41秒26 優勝  
土屋 祐輝(3年) / 小林 星(2年)  
白川龍之介(3年) / 平湯 凌也(3年)  
男子400m 白川龍之介(3年)  
49秒91 6位  
男子走幅跳 土屋 祐輝(3年)  
7m27cm 優勝

東海高校総合体育大会  
6月21日～23日  
三重県営総合運動場  
男子4×100mR 41秒12 優勝  
男子400m 白川龍之介(3年)  
49秒91 6位  
男子走幅跳 土屋 祐輝(3年)  
7m23cm 3位

全国高等学校総合体育大会  
7月30日～8月3日  
大分銀行下1ム  
男子4×100mR 41秒23  
土屋 祐輝(3年) / 小林 星(2年)  
白川龍之介(3年) / 大勝 裕輝(3年)  
鈴木 悠介(2年) / 平湯 凌也(3年)  
男子400m 白川龍之介(3年)  
48秒33 準決勝敗退  
男子走幅跳 土屋 祐輝(3年)  
記録なし 決勝進出

柔道部  
静岡県高校総合体育大会  
5月25日  
静岡県武道館  
団体女子 3位  
5月18日  
静岡県武道館

女子張市武道館  
女子団体 予選敗退  
73kg級 横山 稜悟(2年) 予選敗退  
60kg級 梅沢 信仁(3年) 予選敗退  
全国高校総合体育大会  
8月8日  
福岡市民体育館  
73kg級 梅沢 信仁(3年)  
3回戦敗退

平成25年度全日本ジュニア体重量別選手権  
6月9日  
静岡県武道館  
81kg級 山田 知輝(2年) 優勝  
70kg級 遠田 真子(2年) 優勝  
東海予選  
7月6日  
三重県名張市武道交流館  
81kg級 山田 知輝(2年) 敗退  
70kg級 遠田 真子(2年) 優勝  
全日本ジュニア選手権  
9月7～8日  
埼玉県立武道館  
70kg級 遠田 真子(2年) 出場

剣道部  
静岡県高校総合体育大会  
6月2日  
静岡県武道館  
団体戦 4位  
東海高校総合体育大会  
6月15～16日  
三重県営鈴鹿スポーツガーデン体育館  
団体戦 決勝トーナメント  
1回戦敗退  
佐野 尊法(2年) / 定岡 礼(1年)  
深見 一貴(3年) / 村川 怜太郎(3年)  
森 捷馬(2年) / 金澤 拓斗(2年)  
小林 主季(2年)

空手部  
静岡県高校総合体育大会  
5月6日  
静岡県武道館  
高校男子個人形 山下 景秀(2年) 3位  
東海高校総合体育大会  
6月6～7日

三重県桑名体育館  
高校男子個人形 山下 景秀(2年) 5位  
日本空手東海北信越大会  
5月12日  
岡崎中央総合公園体育館  
高校女子個人形 坂下くるみ(2年) 優勝  
静岡県空手道選手権大会  
5月26日  
静岡県武道館  
高校男子個人形 山下 景秀(2年) 3位  
東海空手道選手権大会(三國体)  
7月7日  
静岡県武道館  
高校男子個人形 山下 景秀(2年) 準優勝  
日本松涛連盟全国大会  
7月27日  
代々木第二体育館  
高校女子個人形 坂下くるみ(2年) 優勝  
日本松涛連盟世界大会  
7月28日  
代々木第二体育館  
高校女子個人形 坂下くるみ(2年) 準優勝

三重県桑名体育館  
高校男子個人形 山下 景秀(2年) 5位  
日本空手東海北信越大会  
5月12日  
岡崎中央総合公園体育館  
高校女子個人形 坂下くるみ(2年) 優勝  
静岡県空手道選手権大会  
5月26日  
静岡県武道館  
高校男子個人形 山下 景秀(2年) 3位  
東海空手道選手権大会(三國体)  
7月7日  
静岡県武道館  
高校男子個人形 山下 景秀(2年) 準優勝  
日本松涛連盟全国大会  
7月27日  
代々木第二体育館  
高校女子個人形 坂下くるみ(2年) 優勝  
日本松涛連盟世界大会  
7月28日  
代々木第二体育館  
高校女子個人形 坂下くるみ(2年) 準優勝

蛇塚クラウン  
本校0対2清水南  
5月3日  
草薙陸上競技場  
本校0対5静岡大成  
5月11日  
吉田高校  
本校0対4吉原  
5月12日  
吉田高校  
本校2対0榛原 予選リーグ敗退  
男子サッカー部  
静岡県高校総合体育大会  
5月18日  
浜松海浜公園  
2回戦  
本校1対0浜松湖東  
3回戦  
本校1対1(PK3対4)藤枝明誠 敗退

卓球部  
静岡県高校総合体育大会  
5月25日  
静岡市北部体育館  
団体戦 1回戦敗退  
海野 晃司(3年) / 菊田 知寿(3年)  
南原 史法(3年) / 魚崎 洋輔(3年)  
狩野遼太郎(3年)  
タイ国際卓球選手権大会  
8月2日～7日  
タイバンコク市  
男子団体 2位  
シングルス 土井康太郎(3年) ベスト6  
全国オープン身体障がい者  
愛知ふれあい卓球大会  
8月18日  
名古屋市天目スポーツセンター  
男子シングルス 土井康太郎(3年) 優勝  
男子シングルス 土井康太郎(3年) 優勝  
男子シングルス 土井健太郎(3年) 優勝

男子ダブルス 準優勝  
土井健太郎(3年) / 土井康太郎(3年)  
静岡県高校総合体育大会  
5月11日  
静岡市東部体育館  
本校0対2大井川 1回戦敗退  
静岡県中部地区大会  
9月7日  
静岡県立藤枝高等学校  
1回戦  
本校2対0静岡北  
2回戦  
本校0対2静岡市立  
順位戦  
本校2対0藤枝東  
本校1対2静岡  
本校2対0静岡東

女子バレー部  
静岡県高校総合体育大会  
5月11日  
静岡県立武道館  
本校1対2常葉橘 2回戦敗退  
静岡県立武道館  
5月11日  
静岡県立武道館  
本校1対2常葉橘 2回戦敗退

女子ソフトテニス部  
静岡県高校総合体育大会  
5月25日  
静岡県武道館  
団体戦 1回戦敗退  
草薙アニスコート  
県大会 本校0対3富士見  
清水 美宥(3年) / 岩崎 聖香(3年)  
北村 成美(2年) / 草ヶ谷 萌(2年)  
高橋麻里奈(2年) / 大谷沙矢香(2年)  
矢部紗希菜(2年)

フェンシング部  
静岡県高校総合体育大会  
5月18～19日  
沼津市民体育館  
飯塚 高雅(3年) 3位  
ラグビー部  
静岡県高校総合体育大会  
4月21日  
東海大翔洋高校  
本校59対0焼津水産

女子サッカー部  
静岡県高校総合体育大会  
4月27日  
吉原高校  
本校0対6藤枝西  
4月29日

国際クラス別肢体不自由者卓球選手権  
11月16日～17日  
大阪府舞洲障がい者スポーツセンター  
男子シングルス 土井康太郎(3年) 優勝

男子ダブルス 準優勝  
土井健太郎(3年) / 土井康太郎(3年)  
静岡県高校総合体育大会  
5月11日  
静岡市東部体育館  
本校0対2大井川 1回戦敗退  
静岡県中部地区大会  
9月7日  
静岡県立藤枝高等学校  
1回戦  
本校2対0静岡北  
2回戦  
本校0対2静岡市立  
順位戦  
本校2対0藤枝東  
本校1対2静岡  
本校2対0静岡東

フェンシング部  
静岡県高校総合体育大会  
5月18～19日  
沼津市民体育館  
飯塚 高雅(3年) 3位  
ラグビー部  
静岡県高校総合体育大会  
4月21日  
東海大翔洋高校  
本校59対0焼津水産

5月5日  
科学技術高校  
本校71対5合同 予選リーグ1位通過  
5月19日  
東海大翔洋高校  
決勝トーナメント1回戦  
本校31対31浜松工業(トライ数負)  
ベスト8

女子ラグビー部  
全国高等学校選抜女子  
セフンスラグビーフットボール大会  
4月5日  
熊谷スポーツ文化公園熊谷ラグビー場  
予選  
本校0対34福岡レディース  
本校39対7東北・北信越選抜  
予選2位通過  
決勝トーナメント(ポウル)  
1回戦  
本校35対0北海道・京都合同  
決勝  
本校0対26南九州選抜 準優勝

名古屋市稲泳スポーツセンター  
・シヨートフラッグ部門 優勝  
全国大会出場  
・ソングリーダー部門 優勝  
全国大会出場  
全国高等学校ダンスドリル選手権大会  
2013  
8月10・11日  
東京体育館  
・シヨートフラッグ部門 4位  
・ソングリーダー部門 優勝  
Miss Dance Drill Team  
International In USA 2014  
出場決定  
School&College Competition 2013  
8月25日  
駒沢オリンピック公園総合運動場体育館  
・Song/Pom部門 高校編成  
Intermediate 準優勝

吹奏楽部  
全日本吹奏楽コンクール中部大会  
8月4日  
高等学校B編成 金賞  
全日本吹奏楽コンクール県大会  
8月10日  
高等学校B編成 銀賞

広報部  
県高等学校写真コンクール  
光村 一帆(3年) 優秀賞  
第37回全国高等学校総合文化祭  
7月31日～8月4日  
長崎県  
写真部門 光村 一帆(3年) 奨励賞

放送部  
NHK放送コンテスト全国大会  
7月23日～25日  
東京代々木青少年オリンピックセンター  
朗読部門 神谷 有咲(3年) 出場

情報処理研究部  
第2回One Minute Videoコンテスト  
8月2日  
日本ユニセフ本部  
・薬師寺大翼(2年) 入賞  
・山田 瑞紀(2年) 入賞  
・溝口 直希(2年) 入賞  
・小島 涼菜(2年) 入賞

馬術部(外部)  
全日本ジュニア障害馬術大会2013  
8月2日～4日  
山梨県馬術場  
・ビーチプロッサム号  
藤本花乃子(3年) 3位  
ドイツの大会  
Hohort  
・ハンターシート 2位  
・チーム競技 4位

弓道部  
静岡県高校総合体育大会中部地区予選  
4月28日  
県武道館  
・女子個人戦 望月 みのり(3年)  
中部6位

チアリーダー部  
全国高等学校ダンスドリル選手権大会  
2013 東海大会  
6月8・9日

男子バスケットボール部  
中部選手権予選リーグ  
9月7日～8日  
榛原高校  
予選  
本校65対52相良  
本校50対63榛原  
本校63対42常葉橘 予選リーグ2位通過  
中部選手権決勝トーナメント進出

野球部  
全国高等学校野球静岡県大会  
7月13日～27日  
草薙球場  
1回戦  
本校12対2島田高校 6回コールド  
2回戦  
本校9対1浜松大平台 7回コールド  
3回戦  
本校9対2掛川西 8回コールド  
4回戦  
本校5対2常葉橘  
準々決勝  
本校9対0横須賀  
準決勝  
本校2対8常葉菊川 敗退 3位

放送部  
NHK放送コンテスト全国大会  
7月23日～25日  
東京代々木青少年オリンピックセンター  
朗読部門 神谷 有咲(3年) 出場

情報処理研究部  
第2回One Minute Videoコンテスト  
8月2日  
日本ユニセフ本部  
・薬師寺大翼(2年) 入賞  
・山田 瑞紀(2年) 入賞  
・溝口 直希(2年) 入賞  
・小島 涼菜(2年) 入賞

馬術部(外部)  
全日本ジュニア障害馬術大会2013  
8月2日～4日  
山梨県馬術場  
・ビーチプロッサム号  
藤本花乃子(3年) 3位  
ドイツの大会  
Hohort  
・ハンターシート 2位  
・チーム競技 4位

弓道部  
静岡県高校総合体育大会中部地区予選  
4月28日  
県武道館  
・女子個人戦 望月 みのり(3年)  
中部6位

チアリーダー部  
全国高等学校ダンスドリル選手権大会  
2013 東海大会  
6月8・9日

吹奏楽部  
全日本吹奏楽コンクール中部大会  
8月4日  
高等学校B編成 金賞  
全日本吹奏楽コンクール県大会  
8月10日  
高等学校B編成 銀賞

広報部  
県高等学校写真コンクール  
光村 一帆(3年) 優秀賞  
第37回全国高等学校総合文化祭  
7月31日～8月4日  
長崎県  
写真部門 光村 一帆(3年) 奨励賞

放送部  
NHK放送コンテスト全国大会  
7月23日～25日  
東京代々木青少年オリンピックセンター  
朗読部門 神谷 有咲(3年) 出場

情報処理研究部  
第2回One Minute Videoコンテスト  
8月2日  
日本ユニセフ本部  
・薬師寺大翼(2年) 入賞  
・山田 瑞紀(2年) 入賞  
・溝口 直希(2年) 入賞  
・小島 涼菜(2年) 入賞

馬術部(外部)  
全日本ジュニア障害馬術大会2013  
8月2日～4日  
山梨県馬術場  
・ビーチプロッサム号  
藤本花乃子(3年) 3位  
ドイツの大会  
Hohort  
・ハンターシート 2位  
・チーム競技 4位

弓道部  
静岡県高校総合体育大会中部地区予選  
4月28日  
県武道館  
・女子個人戦 望月 みのり(3年)  
中部6位

チアリーダー部  
全国高等学校ダンスドリル選手権大会  
2013 東海大会  
6月8・9日

吹奏楽部  
全日本吹奏楽コンクール中部大会  
8月4日  
高等学校B編成 金賞  
全日本吹奏楽コンクール県大会  
8月10日  
高等学校B編成 銀賞

# リオのパラリンピックを目指す 卓球の土井兄弟

## 『康太郎君は国際大会で銀メダル』

昨年11月に行われた「第4回国際クラス別肢体不自由者卓球選手権」のシングルの部で3位に入賞し、今年度の国際大会への出場資格を得た土井康太郎君は、8月2日から7日までタイ・バンコクで開催された肢体不自由者卓球の国際大会「タイオープン卓球選手権大会」の団体戦で、銀メダルを獲得しました。シングル4試合、ダブルス1試合で争う団体戦に中出将男選手とのペアで出場し、予選を2位で通過しました。決勝トーナメントは、初戦でオーストラリアに3-1、準決勝でタイに3-2で勝利し、決勝戦ではエジプトと対戦し、ダブルスは勝利したものの、シングルス3試合を取られ1-3で惜しくも準優勝となりました。

二人は東海大学に進学後も卓球を続け、「2016年にブラジル・リオデジャネイロで開催されるパラリンピックに出場したい」と意気込みを語っています。

なお、「第4回国際クラス別肢体不自由者卓球選手権」では康太郎君は双子の兄・健太郎君(翔洋高3年)と組んだダブル



部活動紹介

これが翔洋のチア!

翔洋高校チアリーダ部部長 小清水綾乃



私たちチアリーダ部は、今年の夏、一生忘れられない経験をしました。8月10日・11日に東京体育館で行われた、全国高等学校ダンスドリル選手権大会2013において、ソングリーダー部門メディアム編成で第1位を獲得しました。また、この結果によりアジアの国々が出場するアジアオープンチアリーディング選手権にもエキシビジョンで参加することができました。ダンスドリル選手権で第1位に輝くのは、部の創立以来初めてです。同じ部門には優勝常連校も出場していました。3月に行われましたUSAナショナルズでは、予選を3位で通過し決勝に進んだものの入賞もできないという結果で終わってしまいました。以来、その時のライバルを意識して毎日の練習に励みました。そして、6月の東海大会予選を1位で勝ち抜いて全国大会に進むことができ念願が叶いました。「本当に頑張ってきて良かった。翔洋のチアリーダ部に入って良かった。」と心から感じました。そして、一緒にこの部門に出場した14人のメンバーと、応援してくれた5人の1年生。支え

てくれた家族、友達。何よりもコーチと顧問の先生への感謝の気持ちを忘れずにこれからも活動していきます。最後に3年生が代表して一言ずつ述べます。

・今まで頑張ってきた14人で最高の演技ができて良かったです。  
(智加)

・1位を目指してきたのでとても嬉しく幸せでした。  
(璃良)

・まさかの展開でビックリしたけど今までで一番嬉しかった。  
(心)

・まさか1位が取れるなんて思わなかったけど、色々なことを乗り越えてとった1位は最高の宝物です。(杏奈)

・今までたくさん練習してきた成果が出てよかったです。  
(汐里)

・つらく大変なこともたくさんありましたが、今まで頑張ってきて良かったです。  
(美咲)

■進路状況

本校の進路指導は東海大学学園の一貫教育システムを活かし、東海大学への推薦入学80%以上を目指すとともに、国公立大学や私立他大学への進学、留学、専門学校への進学や就職など、生徒一人ひとりの希望や適性に合った進路指導とサポートを行なっています。

二〇一二年卒業生の進路状況は大学進学84.1% (東海大学69.0%、就職(4.5%)、専門学校(8.6%)、その他(2.8%)でした。

在籍 245名  
 ・総合進学コース 222名  
 ・特別進学コース 23名

◆東海大学付属推薦 169名 69.0%  
 総合進学コース 168/222 75.7%  
 ( )内の数字は人数

〈東海大学〉  
 文学部(27)、観光学部(6)、政治経済学部(15)、経営学部(2)、法学部(9)、教養学部(8)、国際文化学部(10)、理学部(2)、情報理工学部(3)、情報通信学部(3)、工学部(20)、基盤工学部(3)、海洋学部(19)、農学部(1)、体育学部(13)、医学部(1)、健康科学部(4)

〈東海大学短期大学部(静岡)〉(22)  
 〈東海大学医療技術短期大学〉(1)

◆他大学 37名 15.1%  
 ( )内の数字は人数

電気通信大学、愛知教育大学、静岡文化芸術大学、東京理科大学、中央大学、国土館大学、洗足学園音楽大学(2)、フェリス学院大学、国際武道大学、帝京科学大学、金

沢工業大学、静岡産業大学(2)、愛知学院大学、名古屋商科大学、東海学園大学、近畿大学、静岡県立大学短期大学部(2)、信州大学、秋田県立大学、慶應義塾大学、順天堂大学(2)、日本大学(2)、拓殖大学、共立女子大学、実践女子大学、帝京平成大学、北陸大学、常葉大学、豊橋創造大学、中部大学、愛知東邦大学、至学館大学

◆専門学校 21名 8.6%  
 ( )内の数字は人数

エコー社東京、バンタンデザイン研究所、専門学校日本ホテルスクール、横浜fカレッジ(3)、横浜YMCAsポーツ専門学校、富士リハビリテーション専門学校(2)、ビューティードッグスクール静岡、静岡デザイン専門学校、鈴木学園中央調理製菓専門学校静岡校(3)、大原法律公務員専門学校静岡校(2)、大原トラベル・ホテル・フライダル専門学校静岡校、ミズモト学園東海調理製菓専門学校、ルネサンス・ペット・アカデミー、浜松医師会看護高等専修学校、ジャパンサッカーカレッジ

◆就職 11名 4.5%

アサヒサンククリン(株)、東海システム(株)、(株)フジ環境サービス、みほ動物病院、アーク引越センター(株)、日本料理 竹亭、富士見ヶ丘カントリー倶楽部、リストランテ プリマヴェーラ、大塔歯科クリニック、三菱電機(株) 片岡建設(原田組)

◆その他 7名 2.8%  
 進学準備(4名)  
 就職準備(3名)

# 学校行事

四月

新入生オリエンテーション  
高校・中等部门合同入学式



学園基礎学力定着度試験  
防災訓練①  
制服着こなし講座（一年）  
校外HR（遠足）（一年）

生徒健康診断  
PTA総会



五月  
建学の地美化運動

生徒総会

付属推薦「小論文」試験（三年）  
前期中間試験

六月

教育実習  
公開授業①  
高校体育祭



特別講演（三年）  
「ようこそ先輩」  
デフラグビー倉津 圭太氏



湘南校舎見学（一年）  
沖縄研修オーストラリア研修（二年）

校外研修（遠足）（三年）

七月

前期期末試験  
運動部壮行会  
高校野球応援  
特進山中湖学習合宿  
学オリ夏季セミナー（孺恋）



八月  
学オリススポーツ大会（湘南）  
翔洋高校オープンキャンパス

九月

防災訓練②  
演劇教室「夏の庭」  
高校現代文明論研修会①（二年）  
前期終業式  
六六、六km踏破



十月

後期始業式  
PTA校内環境整備活動  
後期中間試験①  
建学記念式典  
弁論大会



特進ハワイ語学研修（二年）  
学園高大連携総合試験（三年）  
公開授業②  
東海大学付属推薦合格者集会（三年）  
吹奏楽定期演奏会



十一月

バンドフェスティバル  
ドリームサイエンス  
後期中間試験②

一月

SHIP出発  
東海大学学部説明会（二年）  
大学入試センター試験  
高校現代文明論研修会②（二年）

二月

高校入学試験  
後期期末試験  
三送会

三月

同窓会クラブ表彰・入会式  
卒業式



修了式・離任式

## 「ようこそ先輩2013」

6月13日に障害を持ちながら保険サービスの業務に就き、デフラグビーの分野で世界的に活躍する全日本デフラグビーチーム・キャプテンの倉津圭太氏（翔洋高校7期）を講師に招き、「夢の実現に向かって」の演題で高校3年生を対象にした講演会を行いました。講演ではラグビーとの出会い、翔洋のOBとして後輩達に伝えたいこと、そして自身の今後の夢の実現について話して頂きました。

倉津氏は生まれつき先天性難聴で身長も158cmと小柄な体格でしたが、「自分の可能性を試したい」というチャレンジ心から翔洋高校への入学をきっかけにラグビーを始めました。高校3年の2005年には静岡県高校ラグビー大会で優勝し、レギュラーとして花園出場を果たしました。進学した日本福祉大学でもラグビーを続け、在学中にはニュージーランドへ留学し、所属するラグビークラブに所属しながら本場のラグビーも学びました。

今後については、「今は名古屋ラグビークラブに所属しているので、去年よりも積極的に練習に参加し、レギュラーの座を奪い、全国大会に出場して優勝することです。そのためには初心に戻って、中から自分自身を変えていきます。」と抱負を語ってくれました。



# 恩師のたより

## 「退職後の暮らしと回想」

関口庄一郎

この度は、会報を通して同窓会の皆さまや諸先生方にご挨拶させていただく機会をいただき大変光栄に思います。早いもので二〇〇八年三月に退職してから五年半が過ぎました。退職直後は無職という状況にカルチャーショックを受けたものでした。生活の変化に慣れるまで相当の時間が必要でした。いつの間にか「先生暇でしょう！毎日何やっていますか？」と聞かれるようになっていました。一言で多忙な毎日です。

春から秋はテニスなどのスポーツで汗を流し、冬はスキーマスターズ競技を転戦していました。競技は老体にはかなり刺激的



です。また、クラシックギターを五年半、ピアノを三年半の間レッスンを受けています。どうしても弾きたい曲があるので頑張るしかありません。老後になって身体が動かなくなってきたときの備えにもします。畑仕事にもかなりの時間を費やします。退職後の第二の人生は、何かに挑戦することにより感動や挫折や新しい発見が繰り返されるのではないのでしょうか。また、退職後に知り合った人々との交流などを通して、今までにはなかった体験を楽しむことが出来るような気がします。

私は第一高校で十四年間、工業高校で十六年間そして統合した翔洋高校で九年間勤めさせていただきました。第一高校に着任から三年目に一年生の担任を受け持ち、三年後この学年が初めての卒業生となりました。本土に返還されて二年後の沖繩への研修旅行や陸上部を担当してインターハイ初出場という思い出深い年になりました。この学年を含めて卒業生の担任の機会が三回しかありませんでした。三回目が一九八〇年です。今でも心残りです。活気ある校風で懸命に活動する生徒の姿が強く印象に残っています。生徒の迸るエネルギーを感じる時代でした。三六歳で工業高校へ転勤を命ぜられました。強く印象に残っていることは、朝の補習を続け電気工事士受験に臨んでいる姿勢でした。他の科でも資格取得にこのような取り組みが見られました。伝統のヨット部やウエイトリフティング部・野球部・軟式庭球部などは勿論のこと、ラグビー部や柔道部も全国レベルになり、第一高校とも競い合いが続きました。また、工業系クラブも素晴らしい成績を残しました。五十歳に近づいた頃、両校が統合することになり、私も準備委員の一人として当初から開校まで携わりました。開校

当時は第一高校・工業高校から移ってきた上級生と新入生とが一斉にスタートダッシュをするような校内生活でした。特進コースやスポーツコース・吹奏楽コースなども特色でした。やがて教員最後の年が訪れました。「もう一度甲子園に連れて行って欲しい」と野球部員におねだりしましたが叶わず、お世話になった学校を離れました。今、ペンをとりながら、生徒諸君から学んだことや、感動させられたことを思い出し懐かしい気持ちでいっぱいです。

歴任した三校は私にとつていずれも母校です。翔洋高校を新しく育っていく樹木に例えるならば、第一高校と工業高校は幹の内に重なる年輪であり根でもあります。樹木は幹と根のどちらも欠くことが出来ません。どの部分の卒業であつても思いは同じではないでしょうか。これからも卒業生の皆さまと同じような気持ちで翔洋高校の発展や活躍を心から願っております。

# 卒業生のたより

## 「学生生活で得た大きな力」

山本 和哉(翔洋十期)

私は東海大学付属翔洋中学校から高校までの六年間を翔洋中学の第一期生として三保の校舎で過ごしました。その中で多くの人たちが同じ授業を受け、同じような生活をしますが、一人一人に残ることや成長は人それぞれ違うと思います。クラブ活動を通して成長する人や部活に入っていない人も、毎日の授業や個人で行っている習い事、自宅学習などを通して学んでいくことも有りますが、私の場合は中学で剣道、高

校では空手の部活を通して得たものが一番の思い出となっています。それは体力が付いたことはもちろんのこと、「諦めない心」と「多くの友を持ってたこと」です。他にもたくさん得たものがありますが、私はこの二つを強く実感しています。

現在東海大学付属翔洋中学、高校の後輩の皆さんはまだ自分が学校生活で得られることを実感できていない人も多いことと思います。実際、私も学校に通っている時には実感できませんでした。そのため部活が辛い時にはやめたいと思ったことも何回もありました。しかし卒業してから多くの壁にぶつかることが必ずあると思います。友人関係、就職活動、スムーズに就職できてからも働いていく中でも問題は出てきます。

私が卒業してからぶつかった一回目の大きな壁、それは「勉強」です。大半の友人が大学に進学する中、私は鍼灸マッサージの専門学校に進学しました。高校までの学生時代は常に学年でもテストの成績は良い方では有りませんでした。そんな私が国家資格である「鍼師」「灸師」「按摩・指圧・マッサージ師」の資格を取得するのは容易では有りませんでした。そんな時、自分の支えになったのは部活によって培われた「諦めない心」でした。朝の九時半から夜の九時、遅い時には十一時まで勉強を続け、その結果、国家資格を取得することに成功しました。もちろん自分の力だけで合格したのではなく、多くの友人や先生方の助けがあった結果ですが、自分が諦めてしまっていたらいくら友人や先生方がサポートしてくれても合格はしていませんでした。

専門学校は埼玉にあつたので東海大学や他の専門学校に進学した友人とは会う機会は減りました。しかし部活などを通して知り合った沢山の友人が辛い時や問題に直面



# 同窓会報告

## 連合同窓会総会報告

山田 芳平(同窓会事務局)

第38回東海大学高等学校連合同窓会総会は望星高校・高輪台高校が幹事校で、9月14日(土)に栃木県鬼怒川ホテル三日月を会場に行われた。14日はJR東京駅と羽田空港にそれぞれ集合し、望星学塾に向かったが首都高速が渋滞した為予定時間よりだいぶ遅れての到着となった。

望星学塾は東海大学の思想の原点となる塾で施設の説明を受けた後、望星学塾記念館や松前重義記念館を見学した。その後、望星学塾副塾長の橋本敏明先生の講演で松前重義先生の青少年教育にかける熱き思いを聞くことができた。その後、鬼怒川のホテル三日月に向かった。



総会は新たに大阪の仰星高校同窓会も加わり、事業報告では40周年に向けて、「各校の歴史を後世に伝える」「松前先生を知る」をテーマに準備を進めるといふ事であった。また、次回の幹事校は第三高校と報告があり、両角武晴会長より「温泉もたくさんありますので大

勢の方に参加して欲しい」と挨拶があった。総会後は内木文英先生の「東海大学を想う」を演題に講演があり、松前先生とのつながりや教育の世界との関わりがあったのでこまめでやってこれた」と話された。その後懇親会に移り、各同窓会との交友を深めることができた。

翌日はあいにくの雨となったが予定を早め、世界文化遺産に構成されている、日光二荒山神社・日光東照宮・日光山輪王寺の二社一寺の観光に出かけた。日光を離れるころは雨も上がり、JR東京駅と羽田空港に分かれ解散した。



第38回東海大学高等学校連合同窓会 平成25年9月14日

## 工業高校考古学研究部

### OB会研修旅行報告

久保田 正男(工業高校機械科11期)

7月6日・7日に大瀬崎大瀬神社及び大瀬の神池の参拝と見学を目的に考古学研究部OB会研修旅行を行いました。当初の予定では10名程の参加者を見込んでいましたが、諸般の事情により6名の参加となりました。会場は前回と同様に榎木内建設に勤務している西ヶ谷君(11期)のご尽力により借用した沼津市西浦江梨にある「富士見荘」

で行いました。「富士見荘」から見る富士山は7月のためシルエットに霞がかかった状態でしたが素晴らしい雄姿を見せていました。夜は高校時代の古墳発掘や夏合宿の話題で盛り上がり楽しい一時を過ごしました。OB会員の年齢も、知らない内に高齢化?…元気・気力・体力の続く限り、今後も宿泊を兼ねた研修旅行を計画して行く所存です。

## 本山先生を迎えての同窓会

前田 安緒(工業高校電気科6期)

九月十六日、本山克行先生と三年二組の卒業生十一名が静岡で、実に四十六年ぶりの同窓会を開きました。先生は七年間工業高校で教鞭をとり、その後は故郷熊本の東海大学付属第二高校で定年まで勤められました。卒業生はすでに六十五歳となり年金受給者がいる一方でまだ現役で働いている人もいました。懐かしい顔が揃った同窓会は、先生との語らいや昔話で本当に楽しい充実した時間を過ごすことができ、再会を約束してお開きとなりました。



## 同窓会名簿発行のお知らせ

このたび、5年ぶりに同窓会名簿を発行いたします。4月に名簿作成用の確認はがきをお送りいたしますのでご確認のうえご返信賜りますようお願い申し上げます。

- 発行予定日 平成27年1月
- 名簿価格 5,900円(送料・税込み)

\*名簿作成の作業は前回同様(株)サラトに委託します。  
(http://www.salat.co.jp)

### お願い

学年(クラス)名簿、クラブ名簿、支部名簿等をお持ちの方は同窓会事務局宛てお送りください。(ご返却が必要な場合はその旨ご記入ください)

## 翔洋高校三期生同窓会のご案内

このたび、皆様とともに東海大学付属翔洋高等学校2002年3月卒業同窓生有志一同で「学年全クラス同窓会」を企画させていただくこととなりました。

卒業してからの長いときを語らうにはいささか短い時間ではありますが、生涯思い出となる、そんな素敵なお集まりになれば幸いです。ぜひともお問い合わせの上ご参加を賜りますよう心からお願い申し上げます。

日	時	2014年1月3日(金)
会	場	ホテルアソシア静岡 3階駿府1
住	所	静岡市葵区黒金町56
会	費	8,000円
受	付	開始 17時30分 開宴 18時
発	起	人 伏見 優 清水 容子